

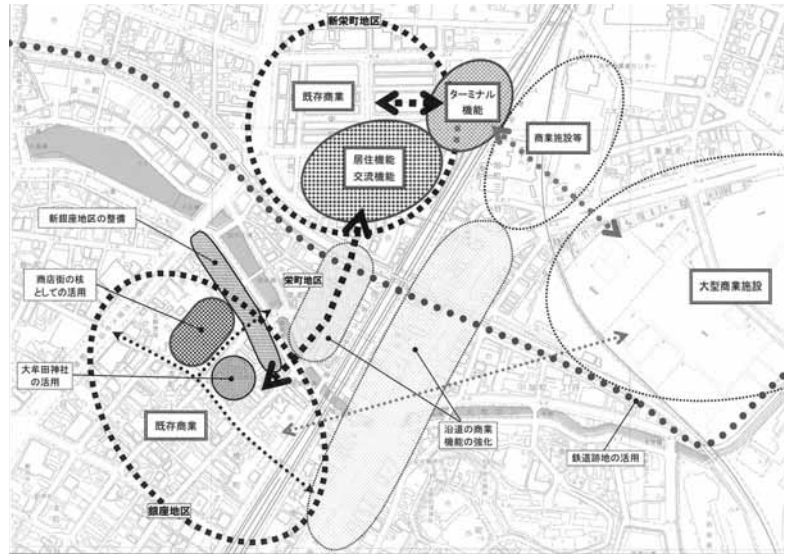
大牟田市地域商業計画(H18年3月)

大牟田市では中心商店街における大型店の相次ぐ閉店、九州新幹線新駅、有明海沿岸道路などの広域交通体系の整備などにより、商業を取り巻く環境が大きく変化しています。こうした環境の変化に対応するため、全市的な基礎調査をはじめ、抜本的な検討や見直しを行い、大牟田市における商業のあるべき姿や短中期的な進むべき明確な方向・指針を早急に示すことが求められています。本調査は、大牟田市地域商業計画について新計画の策定を行うもので、おおむね5年間の取り組むべき方向についての指針を得ることを目的としています。

具体的な取り組み内容は、各商店街の課題や方向性の整理、これまでの取り組みの検証を行った上で、地区別に定めています。

計画策定においては、商工会議所が主体となり、地元商店街、行政、市民代表などによる委員会、ワーキング会議を設け、取りまとめられました。

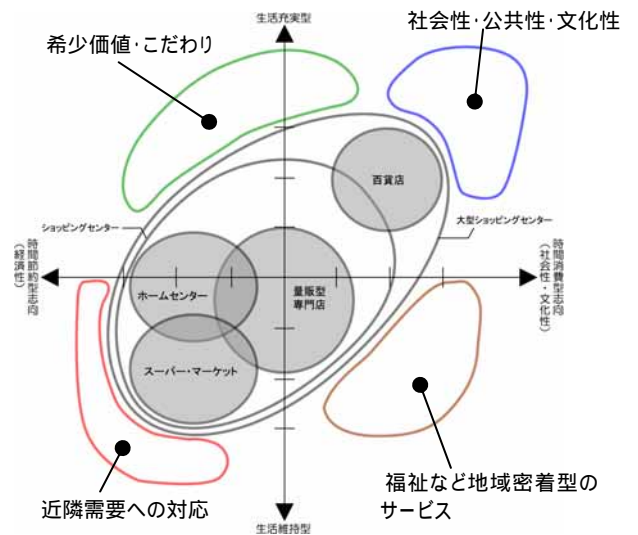
中心商業地の将来ビジョン



< 活性化策のメニュー >

<p>【全地区共通の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 個店の魅力向上・競争力の強化 ● コミュニティビジネス等の導入 (★) ・ 福祉や食育などをテーマにしたコミュニティビジネスの展開 ● 商店街などでの共同イベント等の強化 ・ 既存の販促イベント等のテーマ性、コンセプトの明確化 ● 空き店舗活用の強化 ・ 空き店舗調査の実施、家賃交渉の強化など ● 新規起業の支援 ・ 起業時の支援策の強化、チャレンジショップの設置
<p>【地区別の取り組み(中心商店街)】</p> <p>【新栄町地区の重点的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大型店跡地を活用した居住施設・憩いと交流施設等の整備 ● 商店街駐車場の有効活用の検討 (★) ・ 仮設店舗による屋台村、チャレンジショップなどの設置 <p>【銀座地区の重点的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 松屋跡地の活用の検討 (★) ● 新規出店者に対する支援の強化 ● 地域密着型空き店舗活用プロジェクトの実施 (★) ● 商店街での体験型交流プロジェクトの実施 (★) <p>【その他の取り組み(中心商店街全体)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新栄町駅前のターミナル機能の強化 ● 自然及び歴史資源(大牟田神社、築町公園・大牟田川)の活用 ● 地域通貨「コール」事業の活用・強化 ○ 中心商業地区の回遊性の確保 ● NPO等と連携した街なかイベント等の継続的实施 ○ 新銀座地区の整備 ○ 大牟田ブランド開発の検討・PR ○ イベント時などにおける遊休地などの活用(臨時駐車場など)
<p>【地区別の取り組み(主要近隣型商店街)】</p> <p>【三川・三里地区の重点的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者向けの総合的なサービスステーションの設置 (★) <p>【吉野地区の重点的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 空き店舗、空きスペースを活用したサービスステーションの設置 (★) ● 共同販促イベント等の実施 <p>【通町、上宮・末広、三池地区の重点的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 個店の個性づくり見本事業の実施 (★)

< 地域商業のポジショニング >



< 取り組みイメージ(例) >

イベントによる大牟田神社活用のイメージ



築町公園でのオープンカフェのイメージ



●: 早期(概ね5年以内)の実現を目指して取り組むもの
○: その他の取り組み ★: 新たな取り組み 無印: 継続的な取り組み